

青少年育成市民会議をつくりましょう

青少年育成市民会議は、活力と美しさに満ちた新しい“下野市”創りを目指し、心豊かでたくましい青少年を地域全体で育むために、すべての市民が心をひとつにして取り組む市民運動です。

市町村民会議とはどういうものなのか

青少年育成運動を推進する民間の団体として、国には（社）青少年育成国民会議が、県には（財）とちぎ青少年子ども財団が、市町村には青少年育成市町村民会議があります。

青少年育成運動（国では青少年育成国民運動と呼んでいます。）を推進するうえで、最も重要な役割を果たすのが青少年育成市町村民会議です。

それはこれらの運動が市町村やその地域（校区や町内会）単位で展開されているからです。地域の青少年育成に関する各種団体や指導者との連携を図りながら、市町村における青少年育成運動を推進するのが青少年育成市町村民会議です。

市町村民会議の役割

1. 町内会・自治会などのいわゆる地域社会における青少年育成運動を活発に展開します。
2. 各地域社会における育成運動を総合的に調整し、それをその市町村全域にわたる運動へと発展させていきます。
3. 市町村が行う青少年行政と密接な連携を図り、これに対して積極的に提言したり、また、行政施策の浸透のために協力します。
4. とちぎ青少年子ども財団と密接な連絡をとり、県民運動の一端を担うとともに、情報の入手、指導者の資質の向上を図ります。

なぜ市町村民会議が必要なのか

市町村における各青少年関係機関や団体は、それぞれの目的達成のために活動し、それなりの効果を上げています。

しかし、青少年育成というテーマは、非常に幅が広いものです。内閣府、文部科学省、厚生労働省、警察庁、農林水産省などの省庁が、多くの施策・対策を実施していることからわかるとおり、市町村の段階で単一の機関や団体の活動だけでは解決できない問題も少なくありません。

また、地域に住む誰もが青少年育成の問題について自覚し、活動に参加することによって、より一層の効果を上げることができます。

つまり地域ぐるみの運動を展開することが大切なのです。

明日の下野市を担う青少年の健全育成は学校、家庭と共に地域全体で取り組むことが重要です。地域に住む一人ひとりが青少年問題に関心を持ち、市民の皆様ができることから育成活動に参加いただきたいと思います。市民会議とは、地域の各種団体や学校・個人などが連携を図り青少年育成運動を推進するものです。今、下野市民会議を立ち上げる努力がなされています。市としても青少年行政を重要施策として位置づけ取り組んでおります。地域総ぐるみの育成運動とするため是非ご参加ください。

下野市長 大 垣 隆

問い合わせ先

教育委員会 生涯学習課 ☎ 52- 1119 FAX 52- 2624

野鳥を飼うのはやめましょう

メジロやオオルリなどの野鳥にも人間と同じく自由に生きる権利があります。

野鳥の愛らしい姿や鳴き声は、人びとの心に安らぎを与えてくれますが、野鳥は自然の中においてこそ、一番美しいのです。

許可なく野鳥を捕ったり飼ったりすることは違法行為です。絶対にやめましょう。



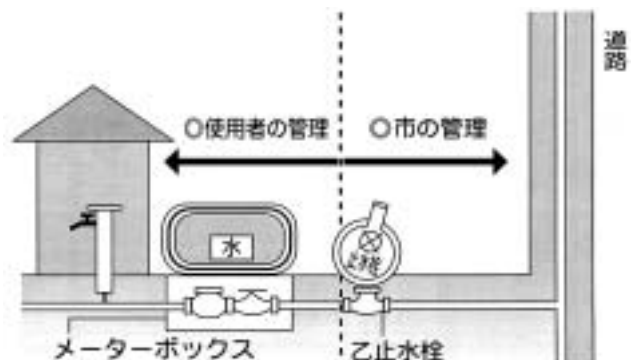
県南地区野生鳥獣保護・飼養連絡会
佐野林務事務所 下野市 下野警察署
栃木県猟友会小山支部 日本野鳥の会栃木県支部

水道週間のお知らせ

～ 6月1日～7日は水道週間です

みんなで水を大切に使いましょう～

水道の施設には、管理区分（自己負担箇所・市の負担箇所）があります。修理などをする場合には、下図を参考にしてください。



問い合わせ先

水道課 ☎ 48 - 2121